



令和5年度

学校評価書



○白州中学校グランドデザイン	P 1
○本年度の経営の方針	P 3
○生徒保護者アンケートの結果から	P 4
○学校関係者評価会議より	P 6
○成果の概要	P 6
○来年度への継続・改善事項	P 8
○資料	
・生徒、保護者アンケート資料	P11
・教職員アンケート資料	P14

北杜市立白州中学校

令和6年3月15日 校長 青柳 香

1 白州中学校グランドデザイン



令和5年度 北州市立白州中学校グランドデザイン

学校教育目標
豊かな心、自ら学ぶ力とたくましく
生きる力を育む白州中教育

国 第四期教育振興基本計画
学習指導要領

県 山梨県教育大綱
(山梨県教育振興基本計画)
山梨県学校教育指導重点

めざす生徒像

- 自ら考え、自ら学ぶ生徒
- 情操豊かで、思いやりのある生徒
- 心も身体も健康でたくましい生徒
- 自分を生かし、互いに高め合う生徒
- 勤労を尊び、人の役に立つ生徒
- 高い志を持ち、最後まであきらめずにやりぬく生徒

市 北州市総合計画(教育大綱)
「原っぱ教育」
『不屈の精神と大使をもった人材の育成』

生徒の実態
地域の特色
保護者の願い
地域の願い

確かな学力の育成

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- 生徒を主体とした「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり
- 学びを自己調整しながら粘り強く取り組む態度の育成
- 家庭学習の充実と習慣化
- ICTを活用した授業づくり

豊かな心の育成

- 自己肯定感や自己有用感を高め、仲間との絆や心の居場所のある学校・学級づくり
- いじめを許さない集団の構築と愛情と信頼に基づく「みんなで育てる生徒指導」の推進
- 読書活動・体験的活動・文化芸術活動を通じた豊かな人間性や社会性の育成
- それぞれの個性や立場を尊重し、認め、伸ばす心身の育成
- 道徳の授業を核とした道徳教育の充実
- 生徒会活動の活性化を図り、自主的・実践的態様の育成

健やかな身体の育成

- 教育活動全体を通じて、いのち・体力・健康・食・安全に関する指導の充実
- 5 類に移行するコロナ対応「衛生管理マニュアル」に基づく教育活動の推進
- 進んで運動に親しみ、体力の向上
- 危機、防災への実践力の向上

特別支援教育の充実

- 特別支援教育に関する専門性の向上
- 生徒一人一人の個性の伸長

郷土を愛し、未来を切り拓く人材の育成

- 生徒や教師が「誇り」をもてる学校づくり
- 「地域とともにある」学校づくり
- 地域資源(ひと・もの・こと)の積極的な活用を図る
- 体系的なキャリア教育の推進

意欲と情熱あふれる職員集団で 支援・指導

- 生徒への深い愛情、職務への深い使命感をもち、支援・指導にあたる。
- 学び続ける教職員集団を構築する。
- 教職員の信頼関係を基盤に、支え合い学び合いながら教師力を高め、活力ある学校運営を行う。
- 教育的実践力を高める研究・研修の充実
- 多忙化の改善、心身の健康の維持増進に向け、全職員が協働して取り組む。

保護者・地域との連携

- ホームページ、学校便り、その他各種通信を通して情報を積極的に発信し、保護者・地域に対して、学校教育活動への理解の醸成に努める。
- 地域素材の教材化や保護者・地域の人材活用に努める。
- 地域と連携した安全管理体制を整備する。
- 保護者・地域の願いを把握し、地域に根ざした学校運営の基盤づくり(白州小中学校運営協議会との連携)を推進する。



令和5年度 白州中学校の「原っぱ教育」

北杜市 教育の目標
不屈の精神と大志をもった
人材の育成

北杜市 目指す子ども像
夢を持ち 未来を切り拓く
心身ともにたくましい
北杜の子ども

学校教育目標 豊かな心、自ら学ぶ力と たくましく生きる力を 育む白州中教育

北杜市 基本方針
Ⅰ 魅力ある学校づくり
を目指します
Ⅱ 信頼される学校づくり
を目指します
Ⅲ 時代に即した教育環境
整備に努めます

Ⅰ 魅力ある学校づくりを目指します

Ⅱ 信頼される学校づくりを目指します

目指す白州中の生徒像
○自ら考え、自ら学ぶ生徒

目指す白州中の生徒像
○心も身体も健康でたくましい生徒
○勤労を尊び、人の役に立つ生徒
○高い志を持ち、最後まであきらめず
にやりぬく生徒

目指す白州中の生徒像
○情操豊かで、思いやりのある生徒
○自分を生かし、互いに高め合う生徒

(1) 特色ある教育の推進

- ①情報活用能力を育てる教育の推進
 - ・ICT サポーターと連携した授業作り
 - ・デジタル教科書等の有効活用
 - ・1人1台端末の活用
 - ・タイピング練習機会の充実
- ②防災学習会の実施
 - ・心肺蘇生法、三角巾使用講習会の継続
 - ・地域の担い手としての防災意識の向上
- ③市内文化施設の積極的活用(ひと・もの)
 - ・1年校外学習-北杜市の文化を学ぶ体験
- ④優れた文化や芸術に触れる機会の創出(ひと)
 - ・芸術鑑賞教室の開催(武川中合同開催 劇)
 - ・地域芸能の鑑賞と体験(雅楽・神楽等)
- ⑤社会の変化に対応し幅広く学習する基盤づくり
 - ・NIEを活用して多様な考えを知り、考えを深める
- ⑥小中学生の交流
 - ・小学生に向けた授業の実施
- (2) 確かな学力の向上
 - ①授業の充実と改善
 - ・やまなしスタンダード「授業づくりの7つの視点」に基づく基礎的・基本的な知識・技能の定着
 - ・生徒を主体とした「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり
 - ・探究課題を取り入れた総合的な学習の時間の充実
 - ・全国、県等各種検査結果の分析と活用
 - ・数学チャレンジの取組
 - ②補充学習の充実
 - ・放課後学習の実施
 - ・定期テスト前と長期休業中の補充学習
 - ・定期テストの実施(年4回)と学力テストの実施(教達検等)
 - ③家庭学習時間の確保とよりよい習慣化
 - ・課題や内容の工夫
 - ④「学びのみなもと」(学習の手引き)の活用
 - ⑤学習強化週間の設定(定期テスト前)
 - ・生徒会の自主的な取組

(3) 豊かな心と健やかな身体の育成

- ①読書活動の推進
 - ・朝読書(毎週月・火・木 10分間)
 - ・家読の推進 (PTAとの協力)
 - ・学校図書館の活用促進
- ②部活動の推進
 - ・朝、放課後の練習
 - ・運動部-対外試合、大会出場
 - ・授業公開、参観・情報交換(保護者)
- ③地域人材を活用した道徳教育の推進
 - ・授業公開、参観・情報交換(保護者)
- ④清掃活動の充実
 - ・協働体制による日常清掃・環境整備活動の推進 (教師・生徒・保護者連携)
- ⑤体力の向上
 - 「全校レクを通じての体力向上の取組
 - 体力テストの結果分析と課題への取組
- ⑥北杜市一周駅伝大会へ選手派遣 (11月-代表)
- ⑦食育の推進(一校一実践の充実)
- ⑧基本的な生活習慣の定着に向けた取組(生徒の自主的な取組と学校保健委員会での発表)
- (4) 自立して生きる力の育成
 - ①キャリア教育の充実(ひと・もの・こと)
 - ・白州地区の事業所における職場体験(2年-3日間)
 - ・地域の人材から学ぶ(虎舞体験授業等)(ひと)
 - ②「駒里発表会」の開催
 - ・2年職場体験の成果発表(対象-1年生、保護者に向けて)
 - ③ボランティア活動
 - ・生徒会、委員会での日々の取組
 - ・ふれあい集会の実施(障がいを持っている方との触れ合いと学習の機会)(ひと)

(5) いじめ・不登校対策の推進と教育相談の充実

- ①いじめ・不登校防止への取組
 - ・「いじめ撲滅宣言」の取組(生徒会による主体的な取組)
 - ・「楽しい学校生活を送るためのアンケート」(いじめ把握調査)の実施(学期2回)と対応
 - ・いじめ防止対策委員会の開催(年3回)
- ②学級づくり・集団づくり・居場所づくり
 - ・自己存在感・有用感・充実感の醸成
 - ・hyper-QUテストの実施と分析、分析をもとにした支援
- ③生徒が主体・主役となる学校行事・生徒会活動の充実
 - ・こまさと祭(学園祭) ・合唱祭
 - ・3年生を送る会 ・合同朝の会
- ④全校応援活動
 - ・生徒会の取組
- ⑤国際理解教育の充実
 - ・ALT等との交流など
- (6) 安全・安心な学校体制
 - ①登下校時の安全確保と指導および地域住民の協力体制の構築
 - ・わんわんパトロール隊との連携
 - ②危機・防災意識の向上
 - ・学区の防災と防犯体制の充実
- (7) 家庭・地域との連携と協働
 - ①地域に根ざした学校運営の基盤作り
 - ・白州小中学校運営協議会の設立
 - ②「我が家のスマホ・ケータイの掟」の取組
 - ・PTAと連携した、各家庭での取組
 - ・家庭生活の見直し(テレビ、スマホ、携帯電話、パソコン、ゲームの時間の見直し)
 - ③地域の行事への参加(こと)
 - ・白州地区文化祭への出演(吹奏楽) 展示
 - ・地区の祭り等への参加
 - ④「PTA愛校作業」の協働実施(年2回敷地内の除草、片付けの作業)
 - ⑤授業や行事の積極的公開と参加促進
 - ⑥ホームページ、学校便り、その他各種通信を通して積極的に情報発信

Ⅲ 時代に即した教育環境整備に努めます

(8) 教職員の働き方改革への支援

- ①部活動指導員の配置・拡大の働きかけ
- ②最終退勤時間の設定と管理職の声かけの推進
- ③教職員の信頼関係を基盤とした支え合い・学び合い(同僚性の構築)

(9) 施設の計画的な維持管理・整備

- ①安全点検の定期的な実施・報告
- ・改善箇所等は関係機関と早期対応・協議

令和5年度 白州中学校教育目標及び教育方針

1 学校教育目標

「豊かな心、自ら学ぶ力とたくましく生きる力を育む白州中教育」

【めざす生徒像】

- 自ら考え、自ら学ぶ生徒
- 自分を生かし、互いに高めあう生徒
- 心も体も健康で、たくましい生徒
- 情操豊かで、思いやりのある生徒
- 勤労を尊び、人の役に立つ生徒
- 高い志を持ち、最後まであきらめずにやりぬく生徒

2 学校経営の方針

豊かな自然に囲まれた本校の生徒は、**純朴で明るく素直**である。人に優しく、生徒同士も、生徒と教師の間でも**気軽に話し合う姿**がある。一方で**社会性に乏しく、自分を表現することや、自分をより高めようとする意欲等に課題**がある。様々な人に出会い、いろいろな事に気付き、深く考え、状況に応じた言動のとれる生徒、社会性のある生徒を一層目指して自律・自立できるようにする。

中学校3ヶ年は義務教育のまとめの時期であり、社会人になる準備期間である。子どもと大人の間接点としての中学生が将来にわたって、自分自身をよく知り、自分の良さを生かすとともに**社会の一員としての言動ができるように育ててゆく**必要がある。小規模校としてのメリットを最大限に生かして、**生徒一人一人が活躍できる機会の充実と教師の授業力の向上**を目指したい。

学校教育目標を具現化するために次のようなことに重点を置いて今年度の教育を行っていききたい。

- 1 地域や生徒の実態に則した教育目標を設定し、**特色ある学校づくり**に努め、教師や生徒が**学校に「誇り」がもてる**学校経営を行う。また、地域資源（ひと・もの・こと）の積極的活用を図り、地域と一体となって子どもたちを育む**地域とともにある学校づくり**に取り組む。
- 2 **基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と生徒を主体とした「主体的・対話的な学びを繰り返しながら深い学び」を実現する授業づくり**を行う。
- 3 「学びの甲斐善八か条」「家庭学習記録」等を活用した**家庭学習の充実と習慣化**を図る。
- 4 各教科・特別の教科 道徳・特別活動・総合的な学習の時間の**本質を踏まえ、生徒が自ら課題を見つけ、調整しながら粘り強く取り組む態度の育成とICTを活用した授業**に取り組む。
- 5 **特別支援教育に関する専門性の向上**を図り、指導方法を工夫して、**生徒一人一人の個性の伸長**を図る。
- 6 自己肯定感や自己有用感を高め、**仲間との絆づくりや心の居場所のある学校・学年づくり**に取り組むと共に愛情と信頼に基づく「みんなで育てる生徒指導」に努め、「いじめ」を許さない**集団の構築と活動の充実**を図る。
- 7 道徳科の授業の充実を図り、教育活動全体を通して、**道徳的実践力を高めると共に豊かな心の育成**を図る。
- 8 心の糧となる読書活動や体験的活動、文化芸術活動を通じて、豊かな人間性や社会性を育む。
- 9 教育活動全体を通じて「いのち・体力・健康・食・安全」に関する**理解を深め**、基本的な生活習慣の定着を図るとともに、進んで運動に親しむ態度を育てる。
- 10 **生徒会活動を活性化**し、生徒自身がよりよい学校生活を創るために取り組み、自主的・実践的な態度を育てる。部活動を生徒が互いに協力し合い、高め合いながら自らの適性や興味・関心をより深く追求していく機会にする。
- 11 自らの個性や特性を理解し、主体的に進路選択ができる能力を育む。また、発達段階に応じた**体系的なキャリア教育の推進**を図る。
- 12 信頼される学校づくりのため、ホームページ、学校だより、その他各種通信を通して情報を積極的に発信し、保護者や地域に対して学校教育活動への理解の醸成に努める。また、**地域に根ざした 学校運営の基盤作り(白州小・中学校運営協議会との連携)**を推進する。
- 13 教職員が支え合い、学び合いながら**教師力を高め、活力ある学校運営**を行う。

2 生徒・保護者アンケートの結果から

I 〈学校生活〉 ※ 「 」内は関連行事等

本年度は、5月から新型コロナウイルス感染症が「5類」に引き下げられ、ほとんどの教育活動や行事に制約がなく取り組めた。

- ほとんどの生徒は学校に行くのを楽しみにしており、行事に積極的に参加すると共に、生徒会活動や学級会活動などの活動の場において役割を果たし活躍している。
「全校レクレーション」「こまさと祭」「合唱祭」「生徒会オリエンテーション」「生徒会立会演説会」等
- 保護者や地域の方が協力的でありがたい。今後も継続して白州中教育を支援してもらい、学校行事等で生徒の成長を見ていただきたい。
「PTA早朝作業」「こまさと祭」「命の学習」「職業講話」「尾白川水質調査」「学校保健委員会」「各種出前授業」等
- マナーや規範意識の向上のため、生徒会活動を中心に取り組み、良き伝統を受け継ぎ、生徒自らがよりよい学校づくりに努めている。
「全校合同朝の会」「あいさつ運動」「ふわふわウィーク」「生徒総会」「白州中PTAスマホの約束」「いじめ撲滅宣言」「JRC活動」等
- 部活動では、少人数ではあるが対外的な大会・コンクールへ向けて、自分に打ち勝つための工夫した練習に取り組んでいる。また、自他を敬愛する心、粘り強い心、規範意識等を育んでいきたい。
「激励集会」「総合体育大会」「新人総合体育大会」「吹奏楽コンクール」「アンサンブルコンテスト」等
- 地域人材の活用を行い、一流の芸術に触れる機会をもち、しなやかな心の育成に努めている。
「芸術鑑賞事業」「台ヶ原虎頭の舞授業」「雅楽体験授業」等
- 安全や健康保持増進に対して、様々な活動に、取り組んでいる。
「性感染予防教室」「命の学習」「避難訓練」「給食委員会残食調査」「学校医を講師でお招きする学校保健委員会」等

II 〈授業・学習・読書〉

- ICT 機器の有用性を教職員が理解し、有効な使い方を学習して積極的に授業などで活用するように心がけている。主体的・対話的で深い学びの実現を目指し授業改善に取り組んでいる。
「教科授業」「アンケート調査」「朝タイピング」等
- 主体的に活動する生徒の育成に向けて、「見通し」と「振り返り」に焦点を当てた学習を協働的に進めている。
「小中合同職員研修」「校内研修」「家庭学習の見直し」等
- 授業のユニバーサルデザイン化と、楽しく、わかりやすい授業展開による達成感、充実感を醸成し、課題解決型学習により活用探究へとつなげている。
「小中相互授業参観」等
- 学力の底上げを図るため、個別支援による補習的な学習の充実にとりくんでいる。
「朝読書の時間」「数チャレ」「放課後の学習会」「学習強化期間の学習会」「長期休業中のほくと学び舎への積極的な参加」「全国学力学習状況調査」「県学力把握調査」「復習テスト」等

- 家庭学習についての目的や方法の見直しを行い、家庭での時間の確保など、まずは確実な定着を目指し、家庭と連携を図っていききたい。
「家庭訪問」「三者懇談」「学年懇談会」「学びのみなもと」「家庭学習記録表（R5～）」「くらしのノートの利用」「学力向上キャラバンの実施（R5）」等
- 外部人材を積極的に授業に活用して、新しい時代を生き抜く力を育成していききたい。
「合唱講師による音楽科指導」「県税理士会による租税教室」「消費者教育の出前授業」「講師による地域伝統行事授業」「職業体験学習」「雅楽体験授業」等
- 1年生の段階からキャリアパスポートに沿って計画的にキャリア教育に取り組み、自己決定能力を高める取り組みを行っている。
「校外学習」「職業講話」「修学旅行」「高校オープンスクールの活用」等
- 保護者の理解を得ながら、家読の意識を高める方策を検討していききたい。
「読書週間」「家読の取り組み」「近隣中学校（武川中）の取り組み紹介」等
- 毎週1回のNIE教育を通して、新聞を読む機会を増やし、社会に目を向け幅広い視野と社会性を育てる。
「隔週1回の朝NIE学習」等

III 〈学校職員〉

- 学習評価、活動評価が生徒の意欲に直接的に結びつくように、評価の改善を行っている。
「白州中学びのみなもと」「自主学習ノートを有効活用するための定期的な見直しや検討」
- 小中連携による系統性・継続性・関連性を持った教育の充実に取り組んでいる。
「小中相互授業参観」「白州小6年生体験授業・6年生保護者授業参観」「新入生説明会・生徒会活動説明」「毎月の小中連絡会」等
- 全教職員の共通理解による支援により、一人一人の生徒や集団のよいところを伸ばす生徒理解に努めている。
「小・中連絡会（情報交換）」「いじめ防止対策委員会」「新入生情報交換会」「職員会議」「校内支援委員会」「北杜市教委いじめ対応アクションプランの活用」等
- 教育相談の充実を図り、生徒の小さな変化に気付けるようアンテナを高くし、ささいなことでも気軽に相談できる雰囲気づくり・体制づくりに努めている。
「スクールカウンセラーによる全員面談」「個別面談」「生徒指導会議（情報交換）」「職員会議」「白州中いじめ防止基本方針」「くらしのノート」「開かれた保健室環境」「北杜市教委いじめ対応アクションプランの活用」等
- 学校生活を通して、自己肯定感、自己有用感がもてるように、考えや思いを聞き、一人一人の良い点をのばしていける声かけや励まし等を行い、生徒に寄り添った指導を心掛けている。
「たより等による情報の積極的発信」「二者面談」「QU調査の活用」「楽しい学校づくりアンケート」「いじめ防止対策委員会」等

IV 〈家庭生活〉

- 家庭との対話を重視し、連携して生徒の家庭での過ごし方を支援している。
「夏休みのしおり」「冬休みのしおり」「春休みのしおり」「くらしのノート」等
- 学校の様子を話題としている家庭も多いが、家庭や地域に本校の教育を理解してもらえるよう学校からの情報発信を積極的に行い、家庭・地域と連携して、白州教育の推進に努めている。
「ホームページ、ブログの充実」「白州中学びのみなもと」「学級・学年・学校・各分掌からのたより（通信）」「白州中安心メール」等

3 学校関係者評価会議より

実施日 令和6年2月16日(金) 15:00~16:30

会場 北杜市立白州中学校 ランチルーム

参加者 学校運営協議会委員

大輪しおり 横森 勝 山田 輝夫 山田 恵子 清水 茂人 中山 由子 原 多美子
小林 栄一 伊東さえ子 井上 亨 依田 信二 北原 芳子 小林 秀彦
清水 道晃 青柳 香 小林 明子 秋山 俊哉

1 〔学校からの提案〕

・「学校評価アンケート」の分析結果について

2 〔全体的な話し合いと内容と評価〕

- 評価については100%の肯定率を目標にしてよく考察されている。
- 発表の場においても、学校評価からの結果においても日ごろの先生方の指導と生徒の努力が感じられた。少人数学校の良さは強く感じるが、幼いころから同じメンバーなので周囲からの自身のイメージも固定化されてしまう。向上心や競争心が育ちにくくならないかとの不安を感じるのも事実。ある程度の集団の中で周りからの影響や刺激を受け柔軟かつ力強く学び行動できる環境を用意してあげられることが望ましいと思う。そのために地域住民でもできることはお手伝いしたいと思う。
- 学校側が様々な工夫と努力をし、子どもたちのことを考えていることが、ひしひしと伝わってきた。何よりも子どもたちが「学校が楽しい」「学校へ行きたい」と思うことが一番大事であると思う。それには家庭の協力がとても重要だが、現代は価値観、考え方の多様化により、先生方が苦勞されていることだろう。地域の一員として何か手伝えることは協力したい。
- 肯定的な意見が多く素晴らしい。特に学校・職員に対して評価が高く先生方の頑張りを感ずる。
- 家庭学習や読書活動の取り組みに工夫していく必要があると感じた。先生方は熱心にされていることがわかり、ありがたいと思う。
- 家庭学習は家庭及び本人の課題であるが、学校からも折に触れて話題にしていくことも大切だと思う。また、読書の取り組みは家庭に積極的に働きかけていただきたい。
- 読書習慣が足りていないのは、スマートフォンが原因だと思われる。スマートフォンの利用の仕方について、保護者・子どもと話し合う必要があるのではないか。
- 結果が昨年に比べ、ほとんどのものがよい結果が維持できていることがわかり、先生方と生徒・保護者の連携や信頼が築けていることを感じた。
- 後期の結果が前期より向上していて様々な経験をしたことで自信がついた結果と感じた。
- ホームページの「学校だより」やブログから、学校や生徒の様子がわかりやすく楽しみである。

4 成果の概要

4月に14名の新入生を迎え、令和5年度の学校生活をスタートした。コロナ禍では様々な制約があったが、今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、生徒の活動やPTA活動等、概ね5月には本来の白州中学校の姿を取り戻して行事が運営された。中でも「こまさと祭(学園祭)」や「合唱祭」は、多くの保護者、地域の方々を招いて盛大に実施された

。また、部活動においては、今年度も卓球部の活躍がみられ、県総体団体優勝、関東大会（山梨開催）に出場した。そのほか、野球部はロータリー杯パート優勝、吹奏楽部は、県吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストとともに銀賞を受賞した。部活動以外にも各種大会への入賞があり小規模校でありながらも生徒の活躍が著しく、充実した白州中教育を進めることができた。

今年度発足した、白州小・中学校運営協議会は、5月、10月、2月に開催し、「地域とともに創る学校」を目指し、精力的に話し合いが行われた。今年度は、3つの部会（学習支援、環境整備、安全・防災）を立ち上げ、来年度へ向けて具体的な活動の方向性が示され、今後さらに地域と連携した学校づくりが進むものと思われる。

小中学校の連携においては、予定通り年2回の合同職員研修による相互授業参観を行うことができた。各学校での授業の様子や児童生徒の様子を参観でき、共通理解がなされたことで今後の双方の教育活動につながり、次年度以降も継続していきたい。また、小学校6年生対象に「白州中体験授業」を実施し、今年度は中学校の社会科の授業体験を行った。児童には、中学校の雰囲気を感じてもらい「わかりやすかった」「楽しかった」という感想が多かった。また、大勢の6年生の保護者も参観に訪れてくれたこと、本校の教育活動を見てもらう良い機会となった。

健康保持増進対策として、今年度も食育の充実について取り組んだ。栄養教諭による食事のマナーや姿勢の指導をしていただき、感謝の気持ちを持ちながら喫食し、残食も減らすことができた。また、給食委員会によるクイズ等の取り組みも行い、楽しみながら給食の時間を過ごすこともできた。生徒会本部の取り組みとして縦割班での身体を使った全校レクレーションや体育の授業前体力作りを充実し、体力の向上に努めた。

「全校合同朝の会」においては、規範意識の向上のための自治的な取り組みを行った。さらに生徒会活動・学級会活動・学校行事等で、一人一人が主役となる活動、協働して取り組む機会等を充実させることで、生徒の居場所づくりや絆づくりを図り、自己有用感や自己肯定感もてる生徒の育成に努めることができた。様々な活動や行事を通して生徒一人一人が、役割や責任を果たす取り組みは、互いのよさを認め合い、敬愛の心を育む機会となった。

今年度は入場制限することなく、地域にも開放して実施した学園祭には、延べ240名という多くの保護者や家族の方々が来校し、当日は、生徒の成長した姿を見ていただき、学園祭を創りあげていただいた。

合唱祭も同様に、入場制限をすることなく、歌声が響き渡る素晴らしいホールで開催することができ、多くの方々に好評をいただいた。

小規模校を生かし、TTによる学習指導の授業を行うことで、基礎的な知識や技能の定着を図ることに努めた。主体的・対話的で深い学びにつなげるためには、生徒が学ぶことに興味や関心を持ち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげることが重要になることから、ICTを活用することを校内研究の柱とした。さらに山梨スタンダードによる「めあての提示、見通し・振り返り」を意識した授業実践も行うことも意識して取り組んだ。特に今年度は、外部講師を招いてICTの研修会や学級づくりの研究会を行い、充実した校内研究を進めることができた。また、本年度も多くの人材を外部講師として、教科・総合的な学習・道徳・特別活動等に積極的に活用し、これからの社会を生き抜く力を醸成してきた。

情報の発信としてのホームページやブログを定期的に更新し、学校の様子や生徒の頑張りをできるだけタイムリーにお伝えできるようにした。

これらの活動については、保護者や地域の方々に温かく見守られ、白州中教育を充実できたことに感謝したい。

5 来年度への継続・改善事項

1 誇りのもてる学校

- 学校で学習したことや習得したことを地域や家庭に積極的に発信し、地域で活躍できる生徒を育成する。
- あいさつも含めた礼儀や規範意識を高め、白州中学校の生徒として、地域で自信をもって自己表現できる生徒を育成する。

2 主体的に学習に取り組む生徒

- 少人数を生かした指導や補充的な学習の充実を図り、基礎的・基本的な知識や技能を習得させる等、「個別最適な学び」を推進する。
- 生徒を主体とした、主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、「協働的な学び」を推進する。
- ICT機器を活用し、主体的に必要な情報を収集、判断、表現、創造し、発信、伝達できる実践力を養う。

3 「学びの甲斐善八か条」を活用した家庭学習の充実

- 家庭学習への取り組みを更に見直し、まずは家庭における学習時間の定着のため「家庭学習記録表」を家庭と連携しながら、積極的に活用する。
- 全ての教科授業において「めあての提示、見通し・振り返り」を実施し、家庭学習と有機的につなげていく。
- 全国学力学習状況調査、山梨県学力把握調査、教育課程実施状況調査等の各種調査を分析し、課題改善のために、生徒の実態にあった授業改善をする。

4 学習に粘り強く取り組む態度とICTを活用した授業実践

- ICT活用を校内研究の柱の一つとし、一人1台端末を授業で活用していく場面をさらに研究を推進する。また、課題解決学習、課題探究学習、体験学習、調査学習等を仕組みグループ・ディスカッション、グループ・ワーク等による協働型の授業を研究する。
- 学力向上推進事業を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、家庭学習の充実に努める。
- 教育者としての幅広い視野・人格・識見・使命感をもち、生徒に対する教育的愛情、教科等に関する専門的知識、広く豊かな教養、そしてこれらを基盤とした実践的指導力を付けていく。

5 特別支援教育の充実

- 専門性の向上を目指し、指導方法の工夫や授業展開の改善を図る。
- 小学校と連携し、個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用・充実させ、生徒の自立を図っていく。
- エールやSC・SSW等の外部機関と連携し、また、「ステップルームひまわり」の効果的運用を行い、不登校生徒へのきめ細かな対応を図る。

6 愛情と信頼に基づく「みんなで育てる生徒指導」「いじめを許さない集団の構築」

- 生活アンケートや生徒指導部会等で素早く情報を共有し、教職員同士でカバーし合いながら組織的に生徒指導に取り組むと共に、全職員で全生徒に関わり、生徒理解に努める。
- 生徒総会における「いじめ撲滅宣言」等の自治活動を推進し、規範意識の向上と他者を思いやる心を育む。
- SCの全員面談や職員による個別相談の充実を図り、素早い情報の収集と早期対応に努め生徒一人一人に寄り添った生徒指導に心がける。
- 生徒会活動、学級活動、部活動、学校行事を充実させ、生徒の居場所づくり、絆づくりに努める。

7 道徳授業の充実と道徳的実践力の向上

- 道徳の授業において様々な題材を多面的・多角的に捉え、「考え議論する道徳」「自己課題としての道徳」へと質的転換をして、しなやかな心の醸成に努め、「命を大切にする心」「思いやりの心」「いじめを許さない心」「正しいことを行おうとする心」を育てる。
- 人間関係づくりを中心に据えて、体験活動で自己肯定感、学校行事で自己有用感を育てていくことで、現代の社会環境の変化に対応できるたくましい生徒の育成をめざす。

8 読書・体験活動、文化芸術活動から豊かな人間性、社会性を育む

- 読解力と豊かな感性を高めるため、朝読の習慣化の徹底を図る。
- 家読については、PTA活動と連携し推進する。
- 芸術鑑賞教室、雅楽体験授業等において、一流の芸術に触れさせ、感性を磨くと共に、こまさと祭文化部門、合唱祭等を通して、豊かな表現力を身に付けさせる。

9 「いのち・体力・健康・食・安全」を大切にした生活習慣

- 道徳の授業や命の授業等を通して、「命を大切にする心」を育む。
- 「SOSの出し方やSOSの受け止め方」に関する教育を実施し、他者に助けを求めてよい事を伝え、友人の危機に気付いたときの対応方法等を理解させる。
- 部活動の充実、全校レクレーション等の取り組みにより、体力の向上と粘り強い心の育成に努める。
- 委員会活動を通じて安全教育や食育を推進し、健康増進、安全に努める。

10 生徒会活動の活性化

- 生徒総会や中央委員会を自治的活動と捉え、学校における様々な取り組みや活動を「自分事」として捉えさせ、協働的に解決する力を育む。
- 生徒会の行事を充実させ、生徒による楽しい学校づくり・生徒自身によるルールや規範作りを支援する。
- 生徒会活動の時間確保と充実を図り、生徒会行事を通して、一人一人が充実した学校生活となるよう支援する。特にあいさつ運動、ボランティア活動の取り組みを推進する。

11 主体的に進路選択とキャリア教育の充実

- 1学年では職業調べや進学先調べ、2学年では地域の事業所の協力を得ながら、職業講話や職場体験・体験報告会、3学年では高等学校のオープンスクールへの参加を通して、キャリア教育の充実を図る。
- 復習テストや教育課程到達度確認検査を活用しながら、自ら進んで課題を克服する姿勢を育て、進路実現に向けた意欲の向上を図る。
- 進路について考え自己実現に向けての支援を図る。
- キャリアパスポートを活用した学習、社会と関連付けた教育、社会人としての資質能力の育成に努める。
- 1学年より積極的に進路情報を提供し、家庭と連携して早めの準備を行っていく。

12 情報の積極的発信と地域に貢献する生徒の育成および学校運営の基盤づくり

- ホームページやブログ、安心メール、学校・学年・学級のたより、PTA活動などの情報提供を迅速に行い、学校の様子や予定、教育情報などを広く発信する。
- 地域人材を教科・生徒指導・道徳・職場体験学習・部活動等で積極的に活用し、地域と連携して生徒を育成することで、地域に学び、地域を知り、地域に貢献する生徒の成長に努めていく。
- 地域行事に積極的に参加・協力し、地域の一員としての地域愛を育む教育を進めていく。
- 白州小・中学校運営協議会と連携し、「地域と育む学校づくり」を推進する。

13 教師力を高めた学校運営

- 教師がICT機器を効果的に活用して授業実践を行うことで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、学習者主体となるよう、積極的に授業改善に取り組んでいく。
- 研究授業を実践し、外部講師を招いてICTの研修会や学級づくりの研究会を実施することで指導力向上を目指した校内研究をおこなう。
- 日々の教育活動を通じてOJTを実施し、また若手教職員から経験のある教職員は、ICTや新たな視点での授業づくりを学ぶなど、互いに支えあい、学びあうことを推進する。

令和5年度学校評価 生徒アンケート集計結果について

NO	項目	回答の人数(37/45)				肯定的評価 (A+B)の 割合% 後期	前期
		A	B	C	D		
学校生活	1 わたしは、学校に行くのを楽しみにしている。	10	19	5	3	78	76
	2 わたしは、心身ともに健康に過ごしている。	13	19	5	0	86	82
	3 わたしは、部活動(校外の自主活動を含む)に参加し、楽しく充実した活動をしている。	17	14	3	3	82	85
	4 わたしは、生徒会活動(学級・学年・委員会)に積極的に参加している。	9	24	3	1	89	79
	5 わたしは、よりよい学校生活を送れるよう、みんなや自分のためになるように生活している。	11	22	3	1	89	85
授業・学習・読書	6 わたしは、楽しく充実した授業を受けている。	9	24	3	1	89	88
	7 わたしは、学校から出される宿題はほぼ毎回取り組んでいる。	13	18	6	0	82	93
	8 わたしは、家庭で予習や復習(自主学習を含む)をほぼ毎日取り組んでいる。	10	10	12	5	54	58
	9 わたしは、授業中に発言したり、人と話し合ったり、グループ活動などを積極的に取り組んでいる。	11	21	3	2	86	70
	10 わたしは、読書をほぼ毎日している。	1	10	17	9	30	64
学校・職員	11 先生方は、生徒の能力や努力を適切・公平に評価している。	16	18	3	0	92	85
	12 先生方は、生徒を理解してくれている。努力したことを認めてくれる。	17	19	1	0	97	94
	13 先生方は、生徒に声かけをしたり、困ったときや悩んでいるときに相談にのったりしてくれる。	19	16	2	0	95	88
	14 先生方は、いじめや仲間はずれのない楽しい学級づくりにつとめている。	25	11	1	0	97	97
家庭生活・その他	15 家庭で自分の役割があり、それを忘れずやっている。	11	18	5	3	78	73
	16 わたしは、家の人に学校の話(授業中の様子や先生の話、友達の話、諸活動の話など)をよくする。	16	10	8	3	70	73
	17 わたしは、安全な登下校、安全な学校生活に心がけている。	20	16	1	0	97	100
	18 わたしは、早寝早起き、朝食を食べるなど健康な生活を心がけている。	9	20	6	2	78	79
	19 わたしは、地域の行事にすすんで参加している。	11	17	7	2	76	70

令和5年度学校評価 保護者アンケート集計結果

NO	項目	回答の人数(38/45)				肯定的評価 (A+B)の 割合% 後期	前期	
		A	B	C	D			
学校生活	1	お子さんは、学校に行くのを楽しみにしている。	8	22	5	3	79	82
	2	お子さんは、心身ともに健康に過ごしている。	13	22	1	2	92	84
	3	お子さんは、部活動（校外の自主活動を含む）や生徒会活動に目標を持って参加し、充実した活動をしている。	16	16	2	3	84	82
授業・学習・読書	4	お子さんは、楽しく充実した授業を受けている。	7	23	5	3	79	82
	5	お子さんは、学校から出される宿題はほぼ毎回やっている。	14	12	8	4	68	82
	6	お子さんは、家庭で予習や復習(自主学習を含む)をほぼ毎日やっている。	6	9	16	7	39	58
	7	お子さんと一緒に読書をしている。または、同じ時間でなくても、同じ本を読んだり、本についての話題を共有したりなど、本を通じてコミュニケーションをとっている。	1	5	18	14	15	32
学校・職員	8	職員は、生徒を理解し、その能力や努力を適切・公平に認め、評価している。	17	19	2	0	95	97
	9	学校は、PTA総会、学年懇談会などにおいて教育方針を分かりやすく伝えている。	23	14	1	0	97	94
	10	学校は、地域や保護者に学校教育や子育て、その他の情報を発信し、連携を図っている。	19	17	2	0	95	97
	11	学校は、家庭への連絡や授業参観の機会を設け、意思疎通をきめ細かに行なっている。	26	10	2	0	95	94
	12	学校は、自ら学ぶ生徒、自他を生かし互いに高めあう生徒の育成に努めている。	15	21	2	0	95	92
	13	学校は、広い心で日々を送る思いやりのある生徒の育成に努めている。	18	17	2	1	95	97
	14	学校は、働くことを大切にし、人の役に立つ生徒、心身ともに健康な生徒を育てている。	17	19	2	0	92	94
	15	学校は、生徒の登下校や学校生活の安全について、日頃から十分に配慮している。	18	15	4	1	86	92
家庭生活	16	お子さんと家庭で、基本的な生活習慣や規範意識についてよく話し合いをしている。	13	20	5	0	86	89
	17	お子さんと学校生活(諸活動や授業中の様子、先生や友達のことなど)の話をよくする。	20	12	3	3	84	89
	18	お子さんと地域の社会活動や学校のPTA活動に積極的に参加している。	12	19	5	1	81	94

6 生徒・保護者アンケート結果に基づく学校の方向性

【学校生活において】

- ・生徒にとって、学校が楽しい場所であるように、対話を大切にした学級活動を充実させていきたいと思えます。また学園祭、合唱祭等の行事において積極的に取り組み、絆を深めお互いの良さを認め合う関係性築いていきたい。
- ・学校生活における生徒の様子や心の変化に気づき、声かけや個別相談などの対応を迅速に行いながら、学校生活の充実を援助していきたい。
- ・生徒主体の活動（生徒集会や行事等）を通して、自治的な活動を育みながら、規範意識の向上を図ってきたい。
- ・地域や保護者の方々の協力のもと、生徒の成長を見守り安全確保について支援していただけるよう、関係機関と連携を図りたい。
- ・部活動は、各部とも少人数だが、心も身体もたくましく成長していけるように、校外での試合や活動などを充実させることで、刺激を受け合い意欲を高めていきたい。

【授業・学習・読書について】

- ・授業で、学習のめあてを立て、見通しと振り返りをする中で、意識的に授業に取り組めるよう、学習指導の工夫に努めたい。
- ・教師が ICT 機器を効果的に活用して授業実践を行うことで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、学習者主体となるよう、積極的に授業改善に取り組んでいきたい。
- ・家庭学習の定着は、本校における課題である。前期のアンケート結果を受け、後期は、教師による指導や学力向上キャラバンで生徒への意識付けを図ったが、今一步、結果が出せなかった。家庭学習の手引きを活用しながら、家庭と連携を図ったなかで、継続的に自主学習が行えるように指導をしていきたい。
- ・学力の底上げを図るため、定期テスト前の放課後学習会等を活用し、個別支援による指導を充実させたい。
- ・苦手教科の克服に向けて、放課後学習会や休業中の『ほくと学び舎』への参加の呼びかけ、学習相談への取り組み等を継続したい。
- ・保護者とも連携して、家読（うちどく）や新聞活用に興味を持ってもらい、本や新聞などを通じてのコミュニケーションの機会を増やすように、取り組んでいきたい。

【学校・職員について】

- ・クラスや学校内で、生徒同士や生徒と教職員のコミュニケーションを大切にして、共に支え合える関係を構築していけるように、日々の授業や生活の中で師弟同行を意識して取り組んでいきたい。
- ・生徒の学習活動が意欲的、積極的になるような評価方法について、改善を継続したい。
- ・HPや安心メール、学校・学年・学級のたより、PTA活動などの情報提供を迅速に行い、学校の様子や予定、教育情報などを知っていただき、地域や家庭との連携を高めながら生徒の活動を支援したい。
- ・学校運営協議会を通して、白州小・中学校の連携を強化し、教育活動の充実を図り、地域と協働する学校づくりを目指したい。

【家庭生活について】

- ・地域や社会に貢献し、役立つ人材の育成を目指し、積極的に地域と連携した白州中教育を進めていきたい。

令和5年度 教職員反省アンケート 回答数13

4…よくあてはまる 3…ややあてはまる 2…あまりあてはまらない 1…全くあてはまらない

項目	No.	評価内容	4	3	2	1	2学期平均	1学期平均	肯定率%
I わたって(学校教育目標に関 全教職員)	1	私は、学校教育目標を理解し、意識しながら指導にあたっている。	3	10	0	0	3.2	3.4	100
	2	私は、目指す生徒像の実現に向けて、教育実践にあたっている。	2	11	0	0	3.2	3.2	100
	3	本校は、「心身ともにたくましく生きることができる人づくり」を基盤にして教育実践にあたっている。	5	8	0	0	3.4	3.2	100
II (全教職員) 学校経営と組織に関して	4	私は、P→D→C→Aのマネジメント・サイクルで教育活動に取り組んでいる。	3	9	1	0	3.2	3.1	92
	5	私は、個人情報保護・情報セキュリティの観点から、記録媒体や文書、諸表簿等を適切に管理・活用している。	9	4	0	0	3.7	3.7	100
	6	本校は、校務分掌において教職員が適切に配分され、有効に機能している。	1	8	4	0	2.8	3	69
	7	本校は、学校経営方針に基づき、教職員の協力により、まとまりをもった教育活動の取り組みが行われている。	2	11	0	0	3.2	3.2	100
	8	本校は、危機管理(防犯・防災・事故など)マニュアルを意識し、生徒の危機回避能力の育成に取り組んでいる。	3	10	0	0	3.2	3.3	100
	9	本校は、教職員間で必要な情報を共有(報告・連絡・相談・確認)し、教育活動に取り組んでいる。	6	7	0	0	3.5	3.2	100
III 学習指導に関して(授業担当教師のみ)	10	私は、基礎・基本の定着と山梨スタンダードを取り入れた授業を実践している。	4	4	0	0	3.5	3.2	100
	11	私は、生徒の主体性を引き出し、学び合いを促進する授業を実践している。	2	6	0	0	3.3	3.1	100
	12	私は、個に応じた指導や、問題解決能力の育成を図るために指導の工夫や改善をしている。	0	8	0	0	3	3.1	100
	13	私は、ICT機器や教材教具を活用し、校内研究テーマに沿った指導を実践している。	3	5	0	0	3.4	3.4	100
	14	私は、授業等で地域の施設や人材を活用して、学校・地域・人材相互の活性化を図っている。	1	3	3	1	2.5	2.3	31
IV 生徒指導・生徒理解を振り返って(全教職員)	15	私は、生徒がきまりの意義を理解し、規範意識を育てる指導を行っている。	2	10	1	0	3.2	3.2	92
	16	私は、生徒の問題行動について早期発見、早期対応が行われるように、情報交換や指導体制をとっている。	5	8	0	0	3.4	3.5	100
	17	本校は、生徒の悩みや相談に時間をかけて対応し、不登校を未然に防ぐ体制をとっている。	5	8	0	0	3.4	3.4	100
	18	本校は、いじめを許さない思いやりのある心を育み、道徳的実践力を培う指導に取り組んでいる。	5	8	0	0	3.4	3.3	100
	19	本校は、生徒指導について、学校・地域・保護者及び関係機関の間で連携作りに努めている。	6	7	0	0	3.5	3.5	100
	20	本校は、生徒が自主的・自治的に活動できるような場が設定され、日常的にその推進がなされている。	1	10	2	0	2.9	3.2	85
V わたって(学習環境・生活環境に関 全教職員)	21	本校は、生徒にとって過ごしやすい生活環境を作るための取り組みを行っている。	5	8	0	0	3.5	3.4	100
	22	本校は、校舎内外の施設・設備について定期的に点検改善がなされ、結果が生かされている。	3	9	1	0	3.2	3.5	92
	23	本校は、保健指導や給食指導を通して、健康への意識を高める取り組みを行っている。	8	5	0	0	3.6	3.7	100
VI 員 の関わり(地域や保護者と 全教職員)	24	本校は、教育目標や方針、各種通信をはじめとした教育情報を保護者や地域に伝えている。	11	2	0	0	3.8	3.5	100
	25	本校は、地域や保護者の声を、学校経営・学年学級運営に反映させている。	6	7	0	0	3.5	3.4	100

7 教職員評価の結果に基づく学校の方向性

【生徒の様子として】

- ・純粋で素直な生徒が多く、様々な場面においてよい活動ができている。また、小規模校のため経験や活躍の場がたくさんあり、先輩後輩かかわらず仲が良い関係性を築いている。
- ・クラス替えがないことで生徒同士、お互いのことをよく理解しており、比較的和やかな雰囲気を感じられる。また、さまざまな特性の生徒がいる中で、それぞれの違いを受け入れて、互いに支え合いながら生活することができている。そして、生徒数が少ない中において、一人で複数の役割等を一生懸命こなしている生徒が多い。

【課題として挙げられること】

- ・小学校からほぼ変わらない集団であることもあり、普通規模の中学校と比較すると切磋琢磨をするといった環境で生活することが少ない。また、良くないことに対して、「それはやめよう。」とはっきり言い合える生徒同士の関係を育てたい。「仲が良いこと」と「なれ合い」は別という認識を持たせたい。
- ・人前で発表する時などの表現力が未熟で自己発信力が低い生徒が少なからずいる状況がある。また、コミュニケーション能力や協調性を大切にした学校生活を送らせたいたい。
- ・授業は、真面目に取り組んでいるが、家庭において自主的に学習をする習慣が定着されていない。本年度の取り組みをブラッシュアップしていきたい。

【来年度への方向性】

- ・今年度の教職員評価では、「例年以上に生徒の学力の面で課題が多く挙げられている」。学校での基礎学力を高めると同時に、家庭学習の充実を図る取り組みを充実させ、学習意欲の向上につなげたい。
- ・基礎学力向上の取り組みとして、ICTを活用しながら生徒一人一人の学びに合わせた「個別最適な学び」を実践していきたい。そして課題解決的な学習や協働的な学習を行い、自己発信力やコミュニケーション能力を高めたい。併せて、校内研究を充実させ、教職員の指導技術のスキルアップをめざしたい。
- ・家庭学習の取り組みについては、まず、保護者と連携し、家庭での生活リズムに学習時間を位置づける取り組みを行い、学習時間の定着を図りたい。その上で、一人一人の生徒へ対応するために「家庭学習記録表」を活用し、学習習慣を身につけさせたい。特に、家庭学習ができていない生徒には、具体的な取り組み方法を提示し、励ましながら、粘り強く取り組んでいきたい。